



べんけい通信

vol.1
2026.9

NEWS LETTER 担当：医療法人財団康生会 武田病院
脳卒中看護認定看護師 江隈 あすか

地域で支える脳卒中患者さんの生活

～急性期から在宅まで、切れ目のない支援をつなぐ脳卒中相談窓口～

脳卒中相談窓口とは

脳卒中患者さんやご家族の困りごとに、
ワンストップで対応する相談窓口です

脳卒中相談窓口は、2022 年からすべての脳卒中患者さんに対する「シームレスな医療・介護・社会福祉連携」を充実させるために、一次脳卒中センター（PSC）コア施設に設置されています。

地域の医療・介護に携わる皆さまもご存じの通り、脳卒中は急性期から回復期、生活期へと長い療養生活を送る疾患です。その過程では、脳卒中患者さんご家族が医療や介護、生活、社会制度などさまざまな困りごとに直面します。脳卒中相談窓口は、そのような困りごとに切れ目なく対応し、患者さん・ご家族が安心して療養生活を送れるよう支援するための窓口です。



このような相談に対応しています

～急性期から回復期、維持期（生活期）まで、切れ目のない情報提供・相談支援を行います～

✓ 再発予防 ・脳卒中の合併症や再発予防 ・服薬管理、生活習慣の見直し ・栄養・運動のサポート	✓ 介護保険 ・介護申請の支援 ・介護サービスの利用相談 ・ケアマネジャーとの連携	✓ 退院後の生活 ・在宅生活に向けた環境調整 ・生活上の工夫や助言 ・社会資源の活用支援	✓ 復職 ・仕事復帰に向けた相談 ・就労支援機関との連携 ・職場との調整支援	✓ 運転再開 ・運転再開に関する相談 ・評価・再開基準の説明 ・関係機関との連携支援
✓ 家族の不安 ・病気や介護に関する不安相談 ・心理的サポート ・家族会やピアサポートの紹介	✓ 福祉制度 ・各種福祉制度の説明・活用支援 ・医療費、障害者手帳の申請補助 ・障害年金の相談・申請支援	✓ 社会資源 ・地域の医療機関・施設の紹介 ・地域包括支援センターとの連携 ・ボランティア・支援団体の案内		

1人ひとりに合わせた支援を、多職種で

当院では、2022年10月に脳卒中相談窓口を開設しました。

開設以来、年間約90名の脳卒中患者さんに対し、入院中から退院後の生活を見据えた支援を行っています。再発予防のための生活指導をはじめ、心理的なサポート、復職や自動車運転再開に関する相談など、1人ひとりの状況や希望に応じた支援を実施しています。医師、看護師、リハビリ、医療ソーシャルワーカーなど、多職種で構成される脳卒中療養相談士を中心に連携し、それぞれの専門性を生かしながら支援を行っています。



■武田病院 脳卒中相談窓口(患者サポートセンター)■

075-361-1352

脳卒中患者の意思決定を支える

患者さん・ご家族の思いや希望を丁寧に伺いながら、将来の療養や生活について一緒に考える意思決定支援にも力を入れています。その1つのツールとして、日本脳卒中学会の「自分の気持ちを伝えるノート」を紹介しています。



在宅療養中の脳卒中患者さん、ご家族にもぜひご紹介・活用していただきたいです。

出典：一般社団法人
日本脳卒中学会

退院後も安心して生活を続けられるよう、
地域の医療・介護機関の皆さまと連携しながら、切れ目のない支援を目指しています。

気になることやお困りごとがありましたら、「**脳卒中相談窓口**」をご活用ください。

発行：京都市下京区・南区・東山区在宅医療・介護連携支援センター
〒601-8452 京都市南区唐橋堂ノ前町15-9 エステート南ビル301
一般社団法人 下京西部医師会内
電話：075-693-8677 FAX：075-693-3677
ホームページ：<https://www.ishikai.or.jp/renkei-center/>
E-mail shimominami-ikai@ishikai.or.jp

